

ServerView Infrastructure Manager V1.3

マニュアル追補版

FUJITSU Software ServerView Infrastructure Manager V1.3 (以下 ISM と記載)のユーザーズマニュアルに関して、以下の訂正・補足がございます。

ISM をご使用の際はユーザーズマニュアル、スタートガイドに加えて本書をご参照頂きますようお願い致します。

2015 年 6 月

富士通株式会社

(1). 本書の対象となる製品

FUJITSU Software ServerView Infrastructure Manager V1.3

(2). 本書が補足するマニュアル

FUJITSU Software ServerView Infrastructure Manager V1.3 ユーザーズマニュアル (CA92344-0641-01)

(3). 訂正・補足事項

・Page 16: 「1.4 ISM 導入、運用フロー」

『1.4 ISM 導入、運用フロー』のフロー図内の作業<4>および作業<5>として下記枠内の記載がありますが、ServerView Suite DVD は ISM V1.3 ではインポート不要です。ファームウェアデータのみインポートしてください。

<4> ファームウェアアップデート

ServerView Suite DVD、ファームウェアデータのインポート [5.1]

↓

ファームウェアアップデート [5.3]

<5> サーバ・ストレージのセットアップ

ServerView Suite DVD、Update DVD、OS メディアのインポート [5.1]

↓

プロファイル作成 (HW プロファイル / OS プロファイル) [5.4.1]

•Page 32: 「3.1.6 PMS および SVIM のインストール」

『3.1.6 PMS および SVIM のインストール』の手順 7.にて下記枠内の記載がありますが、インストールに使用する ServerView Installation Manager(ServerView Suite DVD)の版数によっては「Update SVIM libraries」についてはチェックが付けられない場合があります。チェックできない場合は他の2項目をチェックした状態でインストールを続けてください。

7. 次の3項目にチェックを付けて、[OK]ボタンをクリックします。
- 「ServerView Profile Manager Service」
 - 「ServerView Installation Manager」
 - 「Update SVIM Libraries」

•Page 128 「5.2.4 アラームルールの設定」

『5.2.4 アラームルールの設定』の前に下記の手順により MIB の登録を行ってください。

MIB ファイル登録

- ① ServerView Infrastructure Manager DVD の「¥PROGRAMS¥tools¥MIB」フォルダ配下の MIB ファイルを ServerView Operations Manager の「イベント管理」-「MIB インテグレータ」を起動し登録します。登録手順は、ServerView Suite DVD2 に収録されている「ServerView Event Manager」取扱説明書の「6 MIB の統合」を参照してください。

ism.mib を必ず登録してください。

他の mib ファイルについてはモジュラー型データセンタの場合登録する必要があります。

- ② MIB ファイルの登録が終了したら、以下の順番で関連するサービスの再起動を行います。

・停止順番

- 「ServerView Infrastructure Manager Service」
- 「ServerView Download Service」
- 「ServerView Services」

・起動順番

- 「ServerView Services」
- 「ServerView Download Service」
- 「ServerView Infrastructure Manager Service」
- 「SVHLCM Service」

•Page 190 「6.4 機器の保守後の操作」

『6.4 機器の保守後の操作』の記載を下記の通り読み替えてください。

6.4 機器の保守後の操作

管理対象の機器が故障して機器の交換や保守部品交換を行った場合、ISMに機器登録したときの情報と実機の情報が異なる可能性があります。

機器の交換などを行った場合は、以下の操作を実施してください。

■Profile Manager に登録され、プロファイル適用されている PRIMERGY サーバが対象の場合
Profile Manager 上でサーバ保守後操作（[保守管理（ノード交換）]ボタン）を行います。
詳細は、「6.4.1 Profile Manager でのサーバ保守後操作」を参照してください。

■Profile Manager に登録されているが、プロファイルが適用されていない PRIMERGY サーバ
保守交換前に Profile Manager から登録解除し、保守交換後に再度機器を登録してください。
Facility Manager にも登録されている場合は下記の「Facility Manager に登録されている機器のうち、以下に該当する機器」に記載されている作業(1), (2)を実施してください。

■Facility Manager に登録されている機器のうち、以下に該当する機器

- ・Profile Manager に登録されていない PRIMERGY サーバ
- ・スイッチ、ストレージなどサーバ以外の機器（CFX2000、ETERNUS 等）

上記に該当する機器については、保守交換後に機器情報を確認します。

(1) Facility Manager 画面から保守交換を実施した機器の[プロパティ]をクリックし、
[機器プロパティ]画面を開きます。

(2) シリアル番号と MAC アドレスを確認します。

保守交換前と異なる情報が入力されている場合は、その設定値を手動で変更してください。

・ServerView Operations Manager をアップデートする場合の操作手順

ServerView Operations Manager(SVOM)のアップデートインストールまたは再インストールを行う場合、ISM の操作も必要になります。下記手順で作業を行ってください。

1. ISM のデータベースのバックアップを行います。
詳細は「6.2 ISM データベースのバックアップとリストア」を参照してください。
2. ISM をアンインストールします。
詳細は「付録 C アンインストール」を参照してください。
3. SVOM のアップデート、再インストール等、目的の作業を行います。
4. ISM をインストールします。
詳細は「3.1 インストールと設定」を参照してください。

注意

ISM も同時にアップデートする場合、手順 1 でバックアップしたデータベースは新しい版の ISM では直接リストアできません。

ここでは以前と同じ版の ISM をインストールして、手順 5 でデータベースのリストアを行ったあと、新しい ISM をアップデートインストールしてください。

5. ISM のデータベースのリストアを行います。
詳細は「6.2 ISM データベースのバックアップとリストア」を参照してください。

以上